

令和6年度「インターネットによる遠隔教育受講生（遠隔選科生）」募集要項

科目名：遠隔ー4 保健統計・疫学

A. 科目責任者： 川戸美由紀 （疫学・統計研究部）

B. 科目の内容概略ならびに一般目標 (General Instructional Objective: GIO) と行動目標 (Specific Behavioral Objectives: SBOs)

○内容概略

公衆衛生活動を科学的に実施するための基礎科学である疫学と保健統計について、専門課程分割前期・専門課程地域保健福祉専攻科の科目「保健統計概論」と「疫学概論」で取り上げた基本的事項を習得し理解を深めることを目標とする。

○一般目標：

保健統計、統計学的手法および疫学について、地域保健活動に焦点を当てた基本的事項を習得する。

○行動目標

- ・ 疫学の方法と考え方（研究デザイン、指標、バイアス、交絡、因果関係、スクリーニングなど）について理解し、地域保健の現場で活用することができる。
- ・ 保健統計の概要を理解し、公表されている統計情報を利用することができる。
- ・ データ解析に必要な統計学の基本（推定・検定の考え方、適切な検定手法など）を理解し、結果を解釈することができる。

○科目の進め方

- ・ 講義 60分×7回、課題演習時間 90分。
- ・ 遠隔教育システムに掲載している資料で講義を受講した後、課題を提出する。
- ・ 質問等は科学院遠隔教育システムで受け付ける。

C. チャプター名と各チャプターにおける獲得目標

第1章 疫学（1）疫学の概要、疫学研究デザイン（1）

- ・ 記述疫学、分析疫学を説明できる
- ・ 横断研究、生態学的研究を説明できる

第2章 疫学（2）疫学研究デザイン（2）、疫学指標

- ・ コホート研究と症例対照研究を説明できる
- ・ 相対危険度、寄与危険度、オッズ比を計算できる

第3章 疫学（3）バイアス、交絡、因果関係、スクリーニング

- ・ バイアス、交絡、因果関係について理解する
- ・ スクリーニングの考え方を理解し、感度・特異度が計算できる

第4章 保健統計（1）保健統計の利用

- ・ 地域に関わる保健統計について、概要を理解し、利用することができる
- ・ 年齢調整の方法を説明でき、SMRを計算することができる

第5章 保健統計（2）統計学的推定の基礎と方法

- ・ 点推定、区間推定の考え方を説明できる

第6章 保健統計（3）検定の基礎、検定の方法（1）

- ・ 検定の考え方を説明し、検定結果を解釈することができる
- ・ 割合の差の検定（ χ^2 検定）を説明できる

第7章 保健統計（4）検定の方法（2）、相関と回帰

- ・ 平均の差の検定（t検定）を説明できる
- ・ データの種類に応じた検定手法の選択について理解する
- ・ 相関分析や回帰分析の結果を解釈することができる

D. 担当者一覧：

川戸美由紀（疫学・統計研究部）

上原 里程（疫学・統計研究部）

E. 募集定員：定員5人

F. 受講資格：原則として保健医療科学院専門課程分割後期履修生もしくは研究課程生、
専門課程地域保健福祉専攻科修了生

G. スクリーニングの有無：なし

H. 修了認定の方法：講義ごとに提出された課題の総合評価による

I. 開講期間：令和6年12月2日～令和7年1月31日

J. 受付期間：令和6年10月1日～令和6年10月31日

K. 追加提出書類等：なし

L. 使用テキスト：なし

M. 接続環境：インターネットを用いて科学院遠隔教育システムにアクセスできる。
Microsoft Excelが利用できること。

N. 専門課程（分割後期を含む）認定単位：1